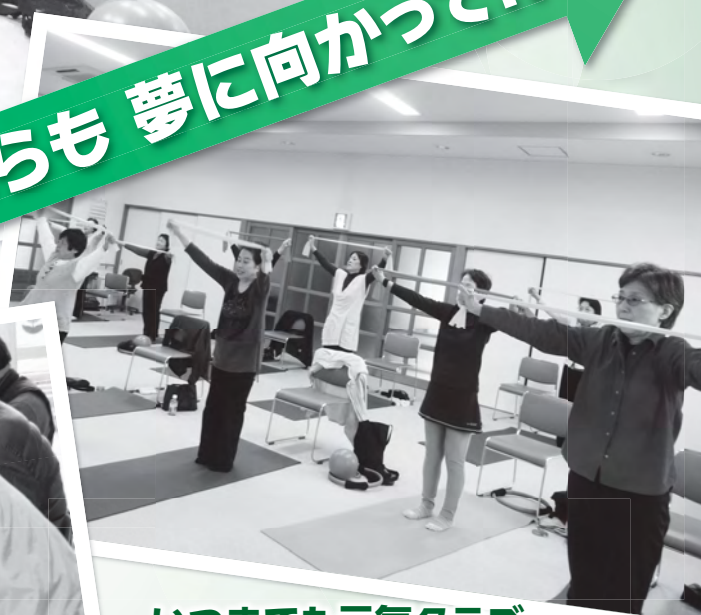


議会だより りゅうおう

No.175

2016年5月1日
滋賀県竜王町議会

GO!GO!元気! まちも われらも 夢に向かって!!



いつまでも元気クラブ
「生涯現役事業」
竜王町社会福祉協議会



ふるさと納税 1億円にせまる勢い 2
「近江牛発祥の地」を宣言できないか 14
町村議会広報全国コンクールで奨励賞 18

平成28年度一般会計 62億4,100万円 2.2%の拡大予算を可決

めざした新年度& 補正予算!

3月定例会を3月1日から24日までの24日間の会期で開きました。
今定例会では平成28年度予算8件、平成27年度補正予算8件、条例関係16件、その他請願など4件の合計36議案を審議し、結果、請願1件を継続審査とした他はすべて可決・採択しました。

28年度予算

歳入の主なもの

	予算額	前年度当初予算との比較	増減
法人町民税	3億6,430万円	2.7億円 減 42.3%	↓

27年度中からの法人町民税率の引き下げと、今後の消費税率の引き上げ予定により、短期的には企業の業績回復が見込みにくい

地方交付税	1億5,200万円	1.3億円 増 660.0%	↑
-------	-----------	----------------	---

27年度決算は1億1,300万円を見込んでいる。2年連続で交付を受ける予定

国庫支出金	7億5,723万円	1.3億円 増 19.9%	↑
-------	-----------	---------------	---

工業団地造成に伴うインフラ整備、障害者支援関連事業、臨時福祉給付金などの事業費の増加に伴い増となる

町 債	3億5,820万円	2.2億円 増 161.1%	↑
-----	-----------	----------------	---

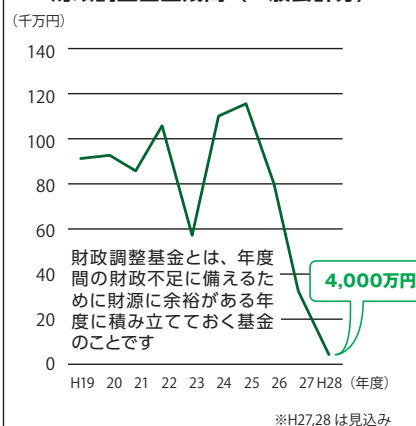
町債3億5,820万円のうち3億800万円は、普通交付税の交付を見込むことに伴う臨時財政対策債

財源不足を補うため
財政調整基金から
繰り入れます。

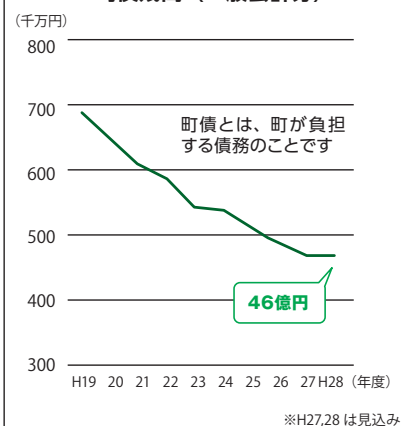


近江うし丸

財政調整基金残高（一般会計分）



町債残高（一般会計分）



3月議会で
何が
決まったの？

持続可能な 竜王町を

歳出の主なもの

27年度補正



若者交電事業
1,570万円
若者交電拠点施設整備基本設計
業務委託料など

28年度予算



公共交通対策費
補助金 1,958万円
岡屋線・八幡竜王線への補助金

27年度補正



竜王近江牛等特産品発信事業
2,860万円
アグリパーク田園資料館改修工事費など

28年度予算



竜王インター周辺地区整備費
8億1,390万円
工業団地や物流拠点への
アクセス道路の整備など

28年度予算



保育所運営費
2億2,145万円
保育所運営に係る負担金

28年度予算



ふるさと納税推進費
4,098万円
納税者への謝礼品にかかる
経費など

ふるさと納税は
28年2月末で2,701件
9,426万円の
寄付を頂きました。
ありがとうございました。

平成28年度特別会計・企業会計

国保（事業勘定）	12億9,030万円
国保（施設勘定）	6,280万円
学校給食事業	5,940万円
下水道事業	6億6,900万円
介護保険	8億5,380万円
後期高齢者医療	9,380万円
水道事業	

< 3条予算 >

・収益的収入	3億6,606万円
・収益的支出	3億6,605万円

< 4条予算 >

・資本的収入	1億4,080万円
・資本的支出	2億8,510万円

平成28年度予算を慎重審議！

基金の積立は

問 基金が枯渇してきたが、突発的な支出にはどのように対応するのか。

答 町財政の弾力性の確保に向け各事業の評価見直しを積極的に行う。さらに、増加する公共施設の維持管理経費へ充当するため、また、これによって単に基金を消化することがないように積み立てていく手法をとっていく。

バス路線の検討は

問 今後の公共交通のあり方をどのように考えているのか。

答 近江八幡市は、岡屋線を廃止したい意向だが、廃止することは出来ない。
滋賀竜王工業団地への路線も含め、検討する。

給食での地産地消は

問 学校給食で竜王町産の食材の使用割合は。

答 野菜、米を中心に平均60%です。

介護支援は十分か

問 認知症問題や外出支援サービスの対策は十分か。

答 認知症については、地域の区長、民生委員、福祉委員、ボランティアの方々などが見守りをしていただいております。町と情報共有し対応している。外出支援については、NPO法人スマイルのサービスが中心で、他にも介護タクシーや公共交通、家族の方による送迎等の対応をいただいている。



◀ NPO法人スマイルの介護タクシー

不明水の調査は

問 不明水対策調査委託料が912万1,000円計上されているが、どの程度まで調査できるのか。

答 煙による調査、宅内の誤設調査および流量調査の3つの調査を実施する。

不明水って？

不明水とは、汚水のみを処理する下水道処理施設に、何らかの原因で浸入する雨水や地下水のことを言います。不明水が発生すると下水道施設の処理能力を超えた水量が流入し、処理費用の増加や水質悪化など様々な問題を引き起こします。



近江うし丸

意見 健全な財政運営を！

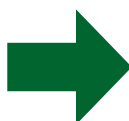
町税の滞納について、適正に処理するように努力いただきたい。厳しい財政事情での予算編成であるが、より適正かつ有効な執行と健全な財政運営に努められたい。

第1回臨時会 2/9

町有地を有効活用することを目的に土地の交換を行うことについて可決。

交換に供する財産

小口字廣谷1100番6 地籍 2,336㎡
価格 15,255,581円



交換により取得する土地

小口字廣谷1113番8 地籍 1,169㎡
価格 8,181,390円

- 交換する土地の面積割合は、町有地2に対して、相手所有者を1とし、交換差金を0円として交換
- 交換することにより当町有地は町道小口八重谷線に接続することとなり、利便性と土地評価が向上

条例の制定・一部改正など

3月定例会での条例に関する議案は、新規制定が2件、一部改正が14件であり、全て原案どおり可決しました。主な条例議案は次のとおりです。

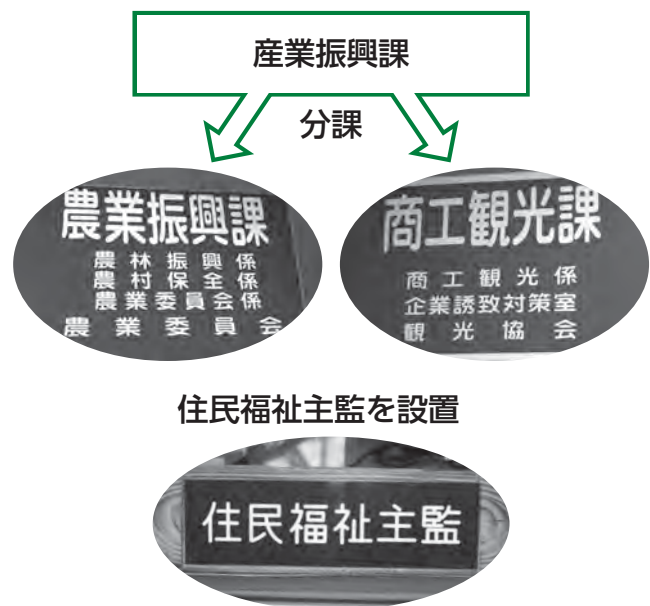
一部改正 竜王町課設置条例

【概要】産業振興課を農業振興課と商工観光課に分けるとともに、また、町長部局に住民福祉主監を設置する

問 各課長が課の業務をとりまとめ、総務主監が舵取りをするということで平成27年度から「総務主監・産業建設主監・住民福祉主監」の部門ごとの3主監体制から「総務主監」として一本化されたのではなかったのか。

答 特に福祉部門の圏域の課題、新たな制度などに対応する必要から、軌道修正を行い、町長部局に住民福祉主監を設置するものである。

意見 以前から申し入れているように、機構改革については条例改正の前に事前に議会との議論の場を設けられたい。



一部改正 竜王町手数料条例

【概要】住民票の写し等の交付手数料について、平成28年7月からコンビニエンスストアにおける証明書の発行に対応するための見直しをする必要があることから、現行の継続用紙4枚増すごとに100円を付加する規定を削除



一部改正 竜王町定数条例

【概要】組織体制の見直しに併せて、定数の総数は改定せずに各部局の定数を増減する

総数 145名	町長の事務部局	94人	改正 ⇒ ⇒	99人
	教育委員会の事務部局	13人		16人
	教育委員会の所管に属する教育機関	38人		30人

一部改正 竜王町税条例

【概要】町税の徴収猶予に係る徴収金の分割納付または分割納入の方法、申請手続き等について新たに規定

常任・特別委員会の活動

総務産業建設常任委員会

視察・研修

愛媛県内子町、道の駅「内子フレッシュパークからり」訪問

- 問** ブランド化成功の秘訣は何か。
答 地元産にこだわり、「からりの農産物は安全」というイメージを持ってもらえるよう品質管理の徹底などに努めている。

防災情報システム

28年度には地域振興波を活用した地域コミュニティ無線の基本設計業務を実施する。

- 問** 地域コミュニティ無線を採用するメリットは。
答 混信のない専用波を利用した比較的安価なシステム構築が可能である。

請願

「TPP（環太平洋連携協定）交渉に関する意見書を求める請願」を審査

内容の一部 TPPの合意内容は、国会決議が遵守されているか厳格に精査し、TPPの影響による農業者の不安を払拭するための万全な国内対策を講じるよう強く求め、意見書を国に対し提出するよう要請する。



◀道の駅「内子フレッシュパークからり」での研修



◀内子産の特産品「じゃばら」を使ったドレッシングやドリンクなどの加工品

教育民生常任委員会

発達支援課の業務内容

平成26年度に発達支援課が新たに設置

- 問** 発達障がいへの対応が遅れることにより二次障害を招く場合があるとのことだが、対応が遅れるのはどういう場合か。
答 保護者が「障がい」という言葉に戸惑い、なかなか受け入れられない場合がある。

視察・研修

岐阜県多治見市の小中学校を訪問

英語教育の出発は、当時の校長の「一人で海外旅行に行ける」がスローガン。

委員の感想 小中学校に加え幼稚園・保育園においても英語教育が週に1時間行われていることにも感心した。

笠原小学校 英語科の授業時間数(年間)

1・2年生	35時間
3・4年生	60時間 (竜王 20時間)
5・6年生	70時間 (竜王 50時間)



海外旅行で英語が話せたらいいな▶
 (多治見市・笠原小学校)

人口減少対策特別委員会

竜王町人口ビジョン

人口ビジョンは、45年後の2060年までを対象期間とし、今後新たな人口減少対策をとらない場合、2060年には約7,200人まで減少する。

問 若者の流出を防ぐ対策が必要ではないか。

答 地域に新しい人は入ってきてほしいという声も聞く。地域やそこに住んでいる人の意識改革も必要である。

今後の研究・調査活動

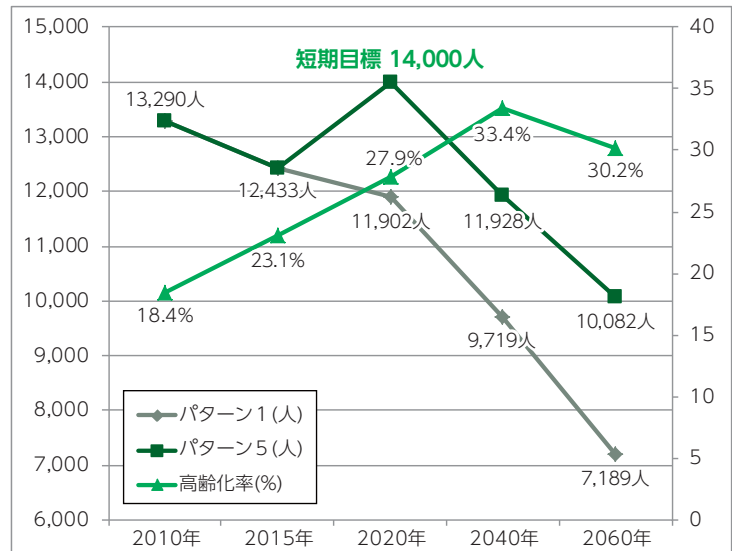
まずは、各課が担当分野において人口増のため具体的にどのように考えているのかを中心に調査活動を行う。

委員の感想

- ・人口14,000人の目標はあるが、まず減少を食い止める具体的方策が必要ではないか。
- ・ある地区では28年度に地域コミュニティ計画を策定される予定。それぞれの地域での人口推移を分析することで増減要因が見えてくるのではないか。
- ・本町は、企業の動向に左右されることが多いが、これはどうにもならない。その他の要因を突き止める必要がある。



将来人口・高齢化率の推計(竜王町人口ビジョンより)



パターン1：新たな人口減少対策を取らない場合の推移

パターン5：国が設定の出生率、20～39歳の転出超過を5年ごとに半減させ抑えていくとして推計

地域活性化特別委員会

滋賀竜王工業団地

工事は、平成28年度末の完了をめざし順調に進める。

問 1区画は決定したが、あとの6区画については進出希望企業はあるのか。

答 28年度中にはさらに1社契約ができるよう努力する。残りの区画についても数社問い合わせがある。

(株)雪国まいたけ

地元建設委員会に対し、農工計画の変更と計画期間の延長を実施する説明を行ったとの報告を受けた。

問 今の状態では、前回農工計画を変更した3年前と変わっていないが、(株)雪国まいたけが契約などした企業はあるのか。

答 契約までには至っていない。

住宅整備

山之上地区の住宅整備については、町道殿山線の拡幅工事を第1・第2工事に分けて行う。

問 山之上地区の全体事業費はどれくらいか。

答 インフラ等を除き、4億円程度ではないかと考えている。

町政 ここを聞く!

3月定例会で11人が
19問の一般質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項
9	若井 猛志	・ 出生率低迷への対策は ・ TPPによる食(学校給食)の安全は
10	森山 敏夫	・ 上水道の低温対策は ・ 竜王西小学校の地盤沈下の対応を
11	貴多 正幸	・ 町民の健康増進対策に危機意識を
	山田 義明	・ アグリパーク竜王周辺の国道に歩道・横断歩道を
12	小西 久次	・ 町の観光振興の加速化を ・ 農林公園内国道477号に歩道の早期設置を
13	菱田 三男	・ 電力自由化への対応は
	古株 克彦	・ 認知症対策の充実を
14	松浦 博	・ 「近江牛発祥の地」を宣言できないか ・ 早期に住宅団地の空き区画対策を
15	森島芳男	・ 被災後の生活再建支援はどうするのか ・ マイナンバーカードの申請状況は
16	内山英作	・ 英語教育の取り組みは ・ 町特産品による観光振興を ・ 安心して外出できる地域社会を
17	岡山富男	・ 町有地を活用し集合住宅を ・ 竜王駐在所を交番にできないか

傍聴に来てみませんか?

次回の一般質問 5月23日(月)予定

議会事務局 ☎ 58-3713

一般質問って?

町の行政全般について
議員が町長をはじめとして
担当部局に疑問点を質したり、
見解などを尋ねたりするもので、
毎定例会で行われるよ



近江うし丸



若井 猛志 議員

問 出生率低迷への対策は

答 多種多様な支援の提供に努める

答 本町の出生率は近年
1・58→1・48人となっ
ている。

問 人口が減り続けるのは、出生率低迷が大きな要因だと考えるが、町はどのような対策をとってきたのか、今後の対策は。

低迷の原因については、経済的な理由などによる未婚率の増加、晩婚化による出生率の減少などが影響していると言われている。

対策としては不妊治療費や妊婦健診費用の



◀子育てサロン（保健センター）

▶子育て支援サイト
「りゅうおうすくすくタウン」



助成、出産後は新生児訪問事業をはじめ子育て世帯の育児不安を解消するための事業を実施している。

また、2月からは、子育て支援サイト「りゅうおうすくすくタウン」を開設し、子育て支援施策を発信している。

さらに、窓口の充実のため、産前産後からの子育て相談について専門の職員を配置し、多種多様な支援提供を行い、出生率の向上を目指していく。

問 TPPによる食（学校給食）の安全は

答 安全、安心でおいしい学校給食事業を推進する

問 学校給食について、地産地消の観点から竜王産の使用実績は60%前後と聞いているが、TPPが批准された場合、残り4割の食品の安全性はどのように確保されるのか。

また、食物アレルギーの子どもには、どのように対応しているのか。

答 学校給食センターが給食物資を購入する際には、製造業者・所在地・内容成分・使用原材料および原産地、また生産履歴等がわかる商品規格書等を添付してもらっている。

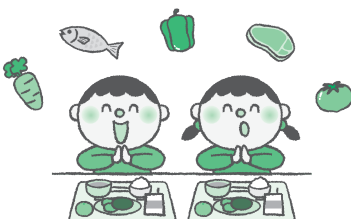
あわせて竜王産の食材をより多く使用するため、竜王産が確保できない場合は、県内産、国内



竜王産60%の学校給食

産を優先して使用している。魚類等については、商品規格書やサンプルで確認しながら使用を決定している。

食物アレルギーの子どもへの対応については、アレルギー対応が可能な共同調理場となっていないことから除去食や代替食等の対応はしていないが、可能な限りアレルギーとなる食品を使用しない調理の工夫をするように、対象の子どもの保護者へは給食内容の詳細について情報提供するなどの対応をしている。



問 上水道の低温対策は

答 凍結対策について
ホームページなどで啓発をしている



森山 敏夫 議員

問 この冬、中国・九州地方で低温による配水池および水道管の凍結が発生し、数日間広域で断水し、日常生活に多大な影響を及ぼした。
異常気象が当たり前になっている昨今の状況から、本町において低温による断水の可能性はないのか、また可能性があるのであればその対策について町の見解は。



薬師配水池
(ステンレス構造)



山中配水池 (PC構造)

答 1月に九州地方を中心として発生した断水は、普段温暖な地域に低温が発生し水道使用者の給水装置が凍結・破損した事により、大量に漏水したため断水が行われたものである。
本町においては各家庭でも一般的に凍結防止措置が講じられている場合が多く、同様の被害が発生する可能性は低い、各水道使用者に対して露出管への保温材の設置、低温時には少量の水を出しておく等、凍結対策をホームページで啓発している。

問 竜王西小学校の地盤沈下の対応を

答 専門的な調査の実施時期について見極める



地盤沈下が生じている通路

問 西小の校舎と運動場との間にある通路において、地盤沈下が見られ、さらにその付近の校舎では数か所にひび割れも発生している。
場所が学校であることに加え、災害時の広域避難所でもあり、慎重かつ迅速に対応すべきである。町として、どのように実態を把握し、対応されているのか、児童のみならず、地域住民の安全・安心の観点から町の見解を問う。

答 西小の校舎については、耐震性を含めて構造上緊急を要する問題はないと考えている。しかしながら校舎周辺のアスファルト面や側溝などの外溝部分においては、一部で地盤の沈下による歪みやひび割れなどが見受けられる。この原因については、砂地の層が長年の雨水の浸透を繰り返す中で収縮していったことにより、徐々に沈下したのではないかと考えているが、今後、専門的な調査が必要である。早急に調査の実施時期を見極めた



貴多 正幸 議員

問 町民の健康増進対策に 危機意識を

答 糖尿病予防・悪化防止を重点的に取り組む

問 平成28年度の町行政執行方針で「増加し続ける医療・介護等にかかる行政需要に対して、引き続き町内の各医療機関や各関係機関等と連携をとりながら、町民皆様の健康づくりに向けて、特に予防を中心とした対策を着実に実施してまいります」と述べられています。どのような対策をされるのか。

答 当町のメタボリックシンドロームの予備軍の割合が県内で最も高い状況にあることから、「糖尿病予防および悪化防止」を重点施策として進めている。

医療機関については、受診者等へ生活習慣の改善や疾病予防に関する指導・助言をいただいている。

また、健（検）診の受診率の向上に取り組むとともに、平成27年度から実施した個別の受診結果の説明会を引き続き実施



糖尿病予防啓発活動(川守老人会にて)

する。
啓発活動については、小・中学校から老人会まで幅広い世代を対象に実施する。
さらに、平成27年度に開始した保健師の地区担当制も活用し、町民全体への取り組みを丁寧に行い、5年後10年後の健康増進につなげていく。

問 今回重点「道の駅」の指定を受けたことを機に、現在未整備状態の歩道の舗装と、東西地区を結ぶ歩道の設置ならびに横断歩道の設置で、交通事故対策と道の駅としての機能アップを図ることにについて問う。

答 県の向こう10年間の道路整備計画では、当該路線は歩道整備事業化検討路線と位置付けられ、検討路線から事業実施路線として位置づけるよう昨年5月に要望したところである。

また、道路横断時は危険な状況であることから、県公安委員会に横断



山田 義明 議員

問 アグリパーク竜王周辺の国道に歩道・横断歩道を

答 関係機関に引き続き要望していく

歩道の設置要望を行っているが、横断後の安全確保などから設置には至っていない。

ますます増加傾向にある農林公園の来園者ならびに、周辺農業従事者等の安全対策を図ることが結果として施設としての機能アップへとつながっていくことから、歩道および横断歩道設置について関係機関に対して引き続き要望していく。



横断歩道の設置が望まれる交差点

問 町の観光振興の加速化を

答 商工観光課を設置し充実を図る



小西 久次 議員

ようこそ竜王へ

主な観光施設の入込客数(平成27年)

*かがみの里	73万人
*アグリパーク	44万人
*蒲生野の湯	13万人
*希望が丘文化公園	13万人
*妹背の里	7万人
*苗村神社	6万人



昨年は6万人(うち外国人約60名)が
観光に訪れた苗村神社

問 観光の現状と今後の具体的な対応は。

答 平成27年実績で本町への観光客は、アウトレットへの来客を除き一七〇万人程度である。

観光振興については観光協会・道の駅・町商工会・町内企業と連携を図り、地域おこし協力隊の活動も活用し、取り組んでいく。

観光協会については、平成27年度から国の交付

金を活用して機能強化を図っているが、平成28年度も町単独費で引き続き実施し、さらに、町の組織にも商工観光課を設置し、関係組織の有機的な連携と県内外へのアピールに努める。

また、日本人だけでなく、外国人観光(インバウンド)を受け入れることについても情報収集に努め、観光対応や農業観光の力をつける中で方向性を見定め観光振興を図る。

問 農林公園内国道477号に

歩道の早期設置を

答 安全確保のため早期着手に向け

働きかけを続ける

問 山之上三田池前コンビニ近からアグリパークを通過し県道水口電王線交差点までの歩道設置の早期着手について問う。

見込まれることから、引き続き早期実現に向け県に働きかけを続けていく。

答 県の道路整備計画にかかるアクションプログラムでは、国道477号

は誰もが安全で安心して暮らせる生活空間を形成するための歩道整備区間として位置づけられているが、実施については事業化検討路線として位置づけられており、事業実施路線となるよう要望を行っている。

今回アグリパークが国の重点「道の駅」として選定されたことにより今後さらに来園者の増加が



歩道のない道を通学、ウォーキングする人ら



菱田 三男 議員

問 電力自由化への対応は

答 電力事業者の選択・検討を進める

答 本町の庁舎等公共施設では、従前より関西電力から電力を購入してい

問 本年4月1日以降は全ての消費者が電力会社や料金メニューを自由に選択できるようになるが、庁舎等公共施設で使用する電力についてどのような考えを持っているのか。

電力小売全面自由化って？

これまで家庭向けの電気は、各地域を供給区域とする電力会社だけが販売しており、電気をどの会社から買うか選択できませんでした。今年4月1日以降は、家庭向けの電気の小売業への新規参入が全面的に自由化されることにより、家庭も含む全ての消費者が、電力会社や料金メニューを自由に選択できるようになりました。



近江うし丸

るが、東日本大震災以降は電気料金の値上げが続いている。庁舎等公共施設は、防災上も重要な拠点施設となることから電力の安定供給は欠かせないとの認識のもと、今後、電気料金の低減をはかりうる電力事業者の選択・検討を進め、合わせて厳しい財政状況のもと節電対策に努める。



問 認知症対策の充実を

答 安心して暮らせるまちづくりを目指す



古株 克彦 議員

●年度別の認知症サポーター養成数

～H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
884	1047	498	278	349	567	448	320	544

延べ4935人(平成28年3月末現在)

●認知症サポーターの内訳

啓発場所	延べ人数
おたっしや教室・老人会	1845人
中学校 (H20～)	1065人
小学校 (H25～)	409人
福祉委員会	79人
地区別人権懇談会	181人
企業・商工会等	119人
その他	1237人
合計	4935人

答 国の補助を受けてのネットワーク整備はしていないが平成25年度より、

問 認知症徘徊見守りネットワークの取り組みは。

答 生活習慣病予防が認知症予防につながることから、特に本町では糖尿病予防対策に重点を置き、老人会や福祉委員会活動の場に出向いての啓発や、健康診断結果返却時の個別健康指導を実施している。

問 認知症予防の取り組みの現状と対策は。

答 認知症地域支援推進員を中心に、各世代に向けての学習や啓発、介護事業所職員の認知症ケアの研修会の開催やケアプランの指導などに継続して取り組む。

問 認知症の人とその家族に対する支援は。

また、認知症を正しく理解するための啓発として認知症サポーター養成講座を実施している。行方不明となる可能性のある方の家族から情報を受け、近江八幡警察署と情報を共有している。

近江牛を取り巻く竜王町の先人

竹中 久次（苗村出身 1840－1913）

明治時代東京浅草近辺に牛鍋屋「米久」を開業、最盛期には多くの支店を持ち、米久の牛肉と言えは知らないものがないといわれるほど栄えた

西居 庄蔵（苗村出身 1854－1924）

郡内に散在する牛馬商の経営不振を憂い、自らが組合長となり蒲生郡牛馬組合を組織し、さらに一般農家が家畜を売買しやすくするため湖東常設家畜市場を設置した



国道477号沿いの近江牛の看板

問 郷土の誇りと自信をもって全国に近江牛をアピールするべきであり、発祥の地と自負する当町から「近江牛発祥の地」を宣言してはどうか。



松浦 博 議員

答 滋賀県での肉用牛の1戸当たりの飼養頭数は全国2位であり、その約7割近くが近江牛となる黒毛和種となっているが、その素となる子牛の9割近くを県外に頼っていることから、子牛の価格高騰が大きな課題。本町においては、地域全体の販売・収益力の向上のため町内畜産農家を中心に「竜王町畜産クラスター協議会」を3月に設立した。

問 「近江牛発祥の地」を宣言できないか

答 「竜王の近江牛」を効果的に発信したい

問 早期に住宅団地の空き区画対策を

答 定住の受け皿として利活用を図っていく

答 新規の住宅供給や住宅地整備には多大な時間を要することから、空き

問 当町の人口減少に歯止めがかからない状態となっている。人口増加に向けた新たな住宅用地開発には際立った進展がないが、滋賀竜王工業団地への企業誘致に伴う従業員の住宅対策は喫緊の課題である。早期対策として既存住宅団地の空き区画の利用について問う。



既存住宅団地の空き区画案内看板

町内既存住宅の空き区画状況 (H27.6調査)

松が丘	136区画
美松台	17区画
松陽台	9区画
希望が丘	30区画
さくら団地	94区画
合 計	286区画

※区画のほとんどが個人所有地

王町総合計画の目標人口14,000人を達成するために、現状ある資源の利活用をはじめ、できるところから先行して取り組む。

家や空き区画は本町にとって重要な資源となる。今後、既存住宅団地の空き区画について詳細な調査を行い実態把握に努め、所有者の理解を得る中で、定住の受け皿として利活用が図られるよう誘導する取り組みを行う。第五次竜



森島 芳男 議員

問 被災後の生活再建支援は どうするのか

答 県と連携を図りながら取り組む

問 災害はいつ起こるか分からず、速やかに復興につながるよう住民支援の体制構築が必要であると思うが、平成25年秋の台風18号での経験を踏まえて、災害発生後、被災者生活再建支援法の対象外となる場合に備え、竜王町においてはどのような救済制度があるのか。

答 本町においては被災者生活再建支援法の対象とはならなかった台風18号による住宅被害のあつ



平成25年台風18号による浸水(弓削地先)

た被災世帯に対して、県が創設した支援制度により支援金ならびに義援金が支給された。

国の被災者生活再建支援制度の適用条件を満たさない災害規模における恒久的な支援制度として制定が予定されている、「滋賀県被災者生活再建支援制度」は、県と市町が共同で運用し、適用条件に該当する場合は、支給額の3分の2を県が、残る3分の1を当該市町が負担する制度となっている。

問 平成27年10月以降にマイナンバーが通知され、税や社会保障などの手続きでの利用が今年1月より開始された。竜王町での個人番号カードの申請の状況と町内人口に対する割合はどのようになっているか。

答 マイナンバーカードを希望する場合は国の委託を受けた地方公共団体情報システム機構へ申請することになっているが、竜王町に住所登録がある方の申請件数は、3月15日現在、502件と聞いており、町内割合としては4・1%である。また、機構において発行されたマイナンバーカードについて町が交付した枚数は147件である。

問 マイナンバーカードの申請状況は

答 町が住民へ交付した枚数は147件



マイナンバーカードは役場窓口で交付されている



ALT(外国語指導助手)と
共同した読み聞かせ(2年生)

幼稚園では、英語の音声や表現に触れる機会の検討を進める。

問 英語教育の 取り組みは

答 「小学英語科」を新設



内山 英作 議員

問 平成21年度以降、国や県の指定を毎年度継続的に受け、小学校における英語教育の早期化、教科化に向けた英語科授業の充実に努めている。

答 平成26年度からは、低学年から英語の音声やリズムに慣れ親しむ活動を取り入れ、3・4年生では年間20時間、5・6年生では年間50時間の「小学英語科」を新設した。

また、中学校では、つまりき診断テストで全国平均を10ポイント以上上回るという結果であった。

問 竜王町での小中学校の英語教育の目標と取り組み状況は。また、幼稚園・保育園での今後の英語教育の取り組みはどうか。

答

肉用牛は、3牧場か

問 日本の2015年の農林水産物・食品の輸出額が前年比21・8%増の7,452億円、3年連続で過去最高を記録。

竜王町産の牛肉、コメ、日本酒などの輸出の現状はどうか。

竜王インター東側の町有地の有効活用についてはどうか。

肉用牛は、3牧場から合わせて200頭あまりが輸出され、5年後には倍増する目標がある。

また、地酒、鮎ずしは海外での国際博覧会や商談会で積極的にPRされている。

インター東側の土地は、6次産業化などによる農業の振興に寄与できる加工製造業種の誘致や、観光PRの情報発信拠点として大変魅力的な土地である。

答 町内3牧場から 200頭あまり輸出

問 町特産品による 観光振興を



5年後には輸出が倍増目標
(澤井牧場)

問 安心して外出できる 地域社会を

答 ボランティアスマイル 会員登録数 114名

問 ある日、突然何らかの理由で自分の運転する車などで自らの力で外出できなくなる時が来るかもしれない。

竜王町の制度の谷間にある交通弱者の現状とその対策は。

答 平成26年のニーズ調査では、295名の方がバスや電車一人で外出できないと回答されている。

竜王町での外出支援の現状は、NPO法人外出支援ボランティアスマイルをはじめ、訪問介護事業所、介護タクシーなどにより対応している。

ボランティアスマイルは本町において大変貴重な社会資源となっており、今後も引き続き、活動の規模や状況に応じて随時検討し、支援を実施したい。



◀事務局の川部由紀子さんと
運転手の北川勇さん、奥健三さん



岡山 富男 議員

問 町有地を活用し集合住宅を

答 重要な資源として検討していく

問 人口の減少に歯止めをかけるには、竜王町に住みたいと思っている人たちのために、いち早く集合住宅を建設することが必要ではないか。

須恵地先の町有地を活用して、集合住宅の計画をしてはどうか。



須恵・西川にまたがる国道477号沿いの町有地（約7,706㎡）

答 須恵・西川にまたがる町有地の活用にあたっては、下水道をはじめとした生活インフラ整備のための、公共投資など将来的な財政負担を伴うことから町全体の将来見通しが必要となる。本町においての住宅需要を定住につなげるための重要な資源として、慎重に検討していく。

問 竜王駐在所を交番にできないか

答 早期の実現に向けた

協議を行っていく

問 昨年の町内での犯罪認知数は109件で前年に比べ22件の増。また、交通事故発生件数は93件で前年に比べ1件の減。

近江八幡署管内での交通事故・犯罪件数は近江八幡駅前交番に次ぎ竜王駐在所が2番目に多いと聞いている。「竜王駐在所を交番に」と要望活動を行ってきたがこれからの具体的な取り組みは。

警察署より今後の県内警察関係施設整備構想を伺っており、時期については明確になっていないものの、本町における犯罪認知件数が増加方向にあることから、竜王交番化への前向きな報告を受けている。

引き続き早期実現にむけ関係機関と協議を行っていく。



竜王駐在所（綾戸地先）

交番と駐在所って何が違うの？

交番は、主として都市部に置かれ、警察官が交代で24時間体制による警戒活動を行っています。
駐在所は原則として、一人の警察官が家族とともに駐在所に居住しながら、地域の安全を守る活動を行っています。



近江うし丸

インタビュー

町民の声

竜王町議会本会議を傍聴して

美松台 鎌田 勝治さん



竜王町議会本会議の傍聴は、今回で2回目である。前回は、初めて議場を訪れたこともあり心地よい緊張感の中で、行政と議員各位の真剣なやり取りを目の当たりにした。さて、今回は2回目ということで、行政側と議員側とのやり取りを余裕を持って客観的かつ興味深く拝見させて頂いた。残念ながら、結果は満足するものではなかったが、多くの議員諸氏は、恐らく事前に調査・勉強し、実直に問題点を指摘し、回答する行政側も真摯に対応している姿は評価できる。しかし、これは至極当然の事であり、真面目さだけでは、物事は前に進まないのも事実である。前回も感じたが、行政側の回答には、事務的な印象しか受けない。加えて、課を超えて連携する姿勢が見えない。つまり、自分の担当ではないと決めつけた案件の質疑には、全く興味を示さない様に感じられた。「オール竜王で対応する」と答弁された町長の言葉が虚しく感じられる。町に山積する問題を一つ一つ解決していく事は、難しい事だと認識しているが、だからこそ課を超えて問題を共有する姿勢が重要だと思うと同時に、行政は問題を解決に導く具体的なプロセスとそのスピードを求められる事も肝に銘じていただきたい。

また、議員団は町民の代表であり、行政に対して直接的な影響力を持つ存在として、今後の活躍に期待したい。

いずれにしても、この竜王町は人口問題をはじめとして喫緊に解決すべき多くの課題を抱えているため、関係各位の不断の努力をお願いすると同時に我々町民も無関心であってはならない事を肝に銘じたい。

熊本地震により被災された皆さまへ心よりお見舞い申し上げます。

編集後記

よりよい議会だよりをつくるため、平成27年度のコンクールに171号を応募し、その結果今回の受賞となりました。審査委員からは、良かった点のみならず改善すべき点も多く指摘していただきました。これを機に、より一層皆さんに親しんで読んでいただける広報紙とするため、「伝わる」紙面づくりを迫

よりよい議会だよりをつくるため、平成27年度のコンクールに171号を応募し、その結果今回の受賞となりました。審査委員からは、良かった点のみならず改善すべき点も多く指摘していただきました。これを機に、より一層皆さんに親しんで読んでいただける広報紙とするため、「伝わる」紙面づくりを迫

議会広報特別委員会
委員長 森山 敏夫
副委員長 森島 芳男
委員 内山 英作
委員 松浦 博
委員 山田 義明
委員 岡山 富男



▲受賞号の議会だより171号
(平成27年5月1日発行)

第三十回町村議会広報全国コンクール
奨励賞「編集・デザイン部門賞」受賞
県内では17年ぶりの受賞!!